

2023年6月30日

各 位

上 場 会 社 名 株式会社 Success Holders
代 表 者 代表取締役社長 下村 優太
(コード：4833 東証グロース市場)
問合せ先責任者 管理部管掌執行役員 岩崎 雅一
(TEL 03-5786-3800)

上場維持基準への適合に向けた計画について

当社は、2023年3月31日（以下「基準日」という。）時点において、グロース市場における上場維持基準に適合しない状態となりました。

上場維持基準の適合に向けた計画を作成いたしましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の基準日時点におけるグロース市場の上場維持基準への適合状況は下表のとおりであり、「時価総額」については適合していません。

当社は、今回不適合となった「時価総額」を充たすために、上場維持基準への適合に向けた各種取り組みを進めてまいります。

		株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率	時価総額
当社の適合状況	2023年3月末時点	適合	適合	適合	適合	27億円
上場維持基準		150人以上	1,000単位以上	5億円以上	25%以上	40億円以上
計画期間		-	-	-	-	2025年3月末

(注) 時価総額は、2023年4月に株式会社東京証券取引所より通知された「上場維持基準（時価総額基準）への適合状況について」に基づいて記載しております。

2. 上場維持基準の適合に向けた取り組みの基本方針

当社は、「時価総額」についてのみ上場維持基準に充たしていませんが、その要因は、当社株価の低迷によるものと認識しております。

「3. 上場維持基準の適合に向けた課題及び取り組み内容」に記載した取り組み内容を着実に進めて、早期に黒字化を目指し、安定的に業績を向上させるとともに、中長期的な視点で企業価値を高めることで「時価総額」を増加させ、本来の上場維持基準が適用される2025年3月1日以後に到来する基準日である2025年3月末までに上場維持基準に適合させることを基本方針といたします。

3. 上場維持基準の適合に向けた課題及び取り組み内容

基準日時点において「時価総額」が、上場維持基準に不適合である要因につきましては、当社の業績（売上高、営業利益等の利益）が伸び悩み、安定的かつ継続的な成長を実現できていないことが大きな要因であると認識しております。

当社といたしましては、計画期間である2025年3月末までに、黒字化を目指し、業績を向上させ、安定的かつ継続的な成長を実現することが、「時価総額」を増加させるための最重要事項であると認識しております。

また、同時に、株主還元施策やIR/PR活動による当社に対する認知度の向上に取り組み、企業価値を高めることで、上場維持基準への適合がより確実なものになると認識しております。

当社は、以下の取り組み内容により「時価総額」が上場維持基準に適合するよう取り組んでまいります。

(1) 優秀な人材の採用

当社は、今後のコンサルティング事業及びテクノロジーソリューション事業を支える優秀なコンサルタント人材及びITエンジニア人材の積極的な採用が重要であると認識しております。

計画的な新卒及び中途採用を継続するとともに、人材紹介エージェントと緊密な関係を構築することにより、優秀な人材の採用を図ってまいります。

(2) 人材の教育体制の強化及び長期安定雇用の実現

当社は、人材の採用と同程度に充実した社内研修、資格取得支援制度等の福利厚生の実施及び業務環境の改善等により彼らの育成が重要であると認識しております。

コンサルタント及びITエンジニアが自らの成長を実感でき、自社に対して愛着を持てる環境を整えること及び彼らのスキルを様々な領域で伸ばすことのできる教育体制を整備することで、より多くのクライアントの様々なニーズに応えられる付加価値の高い人材を輩出していくとともに、早期離職の防止に繋げ、事業基盤の安定化についても図ってまいります。

(3) プロジェクトの進捗管理及び安定した稼働率の実現

当社は、コンサルティング事業及びテクノロジーソリューション事業が提供する業務は、業務内容がクライアントの要求に基づき定められ、プロジェクト単位で遂行するので、プロジェクトの進捗管理及び安定した稼働率の実現が重要であると認識しております。

受注管理においてプロジェクトに対する全社共通の基準に準拠してリスクチェックの実施及びプロジェクトの進捗管理において注視すべきプロジェクトに対するモニタリングやプロジェクトマネージャーによる日々の管理の実施、同時にコンサルタント及びITエンジニアの安定的な稼働の実現を図ってまいります。

(4) 安定的な資金調達の確保及び財務基盤の強化

当社は、2020年11月にテクノロジー事業（現 テクノロジーソリューション事業）を、2022年10月にコンサルティング事業をそれぞれ創業し、事業基盤の構築のために投資を継続している段階であります。

今後も継続的に優秀なコンサルタント人材及びITエンジニア人材の積極的な採用及び育成並びに安定した稼働率の確保等を推進し、黒字転換を図るためには、必要な資金を安定的に確保することが重要であると認識しております。

上記の取り組み内容を迅速かつ着実に実行すること及び持続的な企業価値の向上に繋がる未来への投資を実行するために、様々な資本政策を検討しながら、安定的かつ機動的な資金調達を通じて、財務基盤の強化を図ってまいります。

(5) 企業ブランド力及び認知度の向上

当社は、今後のコンサルティング事業及びテクノロジーソリューション事業を支える優秀なコンサルタント人材及びITエンジニア人材の積極的な採用が重要であると認識しております。

優秀なコンサルタント人材及び IT エンジニア人材の採用に結び付く施策として、より多くの候補者に対して優先的に当社を想起させることが出来るような企業ブランド力及び認知度向上を図ってまいります。

(6) 株主還元施策

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題と認識しており、持続的な事業拡大と経営基盤の確立のための内部留保の充実に配慮しつつ、業績状況、財務状況及び事業環境等を総合的に勘案し、安定的かつ継続的な配当を維持することを基本方針としております。

(7) IR /PR 活動の実施

株主、投資家の皆様への当社の認知度を高め、企業成長力に対する理解を深めていただけるよう、IR/PR 活動による情報開示の充実に引き続き努めてまいります。

以上